

明石工業高等専門学校	開講年度	令和02年度(2020年度)	授業科目	測量実習
科目基礎情報				
科目番号	0019	科目区分	専門 / 必修	
授業形態	実習	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	都市システム工学科	対象学年	1	
開設期	前期	週時間数	2	
教科書/教材	測量実習指導書(明石高専都市システム工学科教室編)			
担当教員	江口 忠臣,内藤 永秀			

到達目標

- 1) 距離測量について理解し、器具を使って測量できる。
- 2) 角測量について理解し、器具を使って測量できる。
- 3) 水準測量について理解し、器具を使って測量できる。
- 4) 実習結果をまとめ、考察することができる。

ループリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	十分に、距離測量について理解し、器具を使って測量できる。	距離測量について理解し、器具を使って測量できる。	距離測量について理解しておらず、器具を使って測量できない。
評価項目2	十分に、角測量について理解し、器具を使って測量できる。	角測量について理解し、器具を使って測量できる。	角測量について理解しておらず、器具を使って測量できない。
評価項目3	十分に、水準測量について理解し、器具を使って測量できる。	水準測量について理解し、器具を使って測量できる。	水準測量について理解しておらず、器具を使って測量できない。
評価項目4	実習結果をまとめ、適切に考察することができる。	実習結果をまとめ、考察することができる。	実習結果をまとめ、考察することができない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 (B) 学習・教育到達度目標 (G)

教育方法等

概要	各種の現況測量の理論を実習を通じて体得する。
授業の進め方・方法	複数教員形式の実習・演習形式で行う。 レポート等提出課題(70%)、取組み(30%)を総合して評価し、60%以上を合格とする。 但し、レポート等不備がある場合は再提出が必要であり、再評価する。 非常勤講師(内藤)の連絡員…都市システム工学科 三好
注意点	目的を理解した上で、基本に徹し正確な測量を行う。共同作業における個人の役割を果たし、安全に十分気をつける。 天候により授業内容および時間に変更有り。 合格の対象としない欠席条件(割合) 1/5以上の欠課

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	実習の心構え、レポートの書き方	実習の心構えを理解し、レポートの書き方を説明できる。
		2週	距離測量(歩測)	歩測を用いた距離測量ができる。
		3週	" (スチールテープ測距)	スチールテープによる距離測量ができる。
		4週	" (レポート作成)	実習結果をまとめ、考察することができる。
		5週	角測量(トータルステーションの据え付け、読みの練習)	トータルステーションの据え付け、値を読むことができる。
		6週	" (単測法)	単測法による角測量ができる。
		7週	" (単測法・方向法)	単測法・方向法による角測量ができる。
		8週	" (方向法・セオドライトの練習)	方向法による角測量ができる。
2ndQ		9週	" (レポート作成)	実習結果をまとめ、考察することができる。
		10週	水準測量(昇降式)	昇降式による水準測量ができる。
		11週	" (昇降式・器高式)	昇降式および器高式による水準測量ができる。
		12週	" (器高式)	器高式による水準測量ができる。
		13週	製図・演習(面積計算)	製図によって面積計算ができる。
		14週	" (面積・土積計算)	製図によって面積および土積計算ができる。
		15週	" (プラニメータ)	プラニメータを用いた面積計算の方法を説明できる。
		16週	期末試験実施せず	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建設系分野	区域の大小、順序、方法、目的および法律による分類について、説明できる。	3	前3,前9,前10,前11,前12
			測量体系(国家基準点等)を説明できる。	3	前10,前11,前12
			巻尺による測量で生じる誤差を説明でき、測量結果から計算ができる。	4	前3,前4
			光波・電波による距離測量を説明できる。	4	前4,前12
			単測法、倍角法、方向法を説明でき、測量結果から計算ができる。	4	前5,前6,前7,前8,前9
			生じる誤差の取扱いを説明できる。	4	前5,前6,前7,前8,前9

				種類、手順および方法について、説明できる。	3	前10,前11,前12
				昇降式や器高式による直接水準測量を説明でき、測量結果から計算ができる。	4	前10,前11,前12
				生じる誤差の取扱いを説明できる。	4	前10,前11,前12
				測定結果から、面積や体積の計算ができる。	4	前13,前14,前15
				有効数字、数値の丸め方を説明でき、これを考慮した計算ができる。	4	前4,前9,前10,前11,前12,前13,前14
分野別の工学実験・実習能力	建設系分野【実験・実習能力】	建設系【実験実習】		距離測量について理解し、器具を使って測量できる。	4	前2,前3,前4
				トラバース測量について理解し、器具を使って測量できる。	3	前10,前11,前12
				水準測量について理解し、器具を使って測量できる。	4	前10,前11,前12
				セオドライトによる角測量について理解し、器具を使って測量できる。	4	前5,前6,前7,前8,前9

評価割合

	試験	レポート課題	相互評価	取組み	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	70	0	30	0	0	100
基礎的能力	0	20	0	10	0	0	30
専門的能力	0	50	0	20	0	0	70
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0